

平成27年 7月 31日

まちづくり委員会資料

所管事務報告

J R南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する協定の締結
について

資料 J R南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する協定の締結について

参考資料 1 (仮称)小田栄新駅設置に向けた取組
(平成27年1月29日 報道発表資料)

参考資料 2 南武支線新駅設置に関する報告会の開催状況と主な意見

参考資料 3 南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する基本協定書

参考資料 4 駅名投票に関する取組

まちづくり局

JR南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する協定の締結について

資料

背景・経緯

- 平成26年3月～ JR東日本と川崎市において、地域と鉄道の持続的発展に向け勉強会を開始
- 平成27年1月 両者において、包括連携協定を締結
(JR東日本が自治体との間で締結する初の包括的な連携協定)
南武支線新駅設置に関する調査及び検討に着手
- 平成27年7月 検討状況に関する報告会を実施

新駅設置の目的・基本的な考え方・効果等

目的	・人口が急増している小田栄地区等の利便性を向上し、まちづくりに寄与する。
基本的な考え方	・既存鉄道ストックを最大限に活用した簡易な構造の駅を、短工期で整備することにより、早期に事業効果を発現する。 ・JR東日本と地方自治体が連携により具体化を図る「戦略的新駅」として、両者が協働して取り組む。
効果等	・小田栄地区から新宿等に向かう際、時間短縮効果及び費用削減効果を見込む。 ・定着時の利用者は乗降者数で約3,500人/日を想定する。

協定の内容

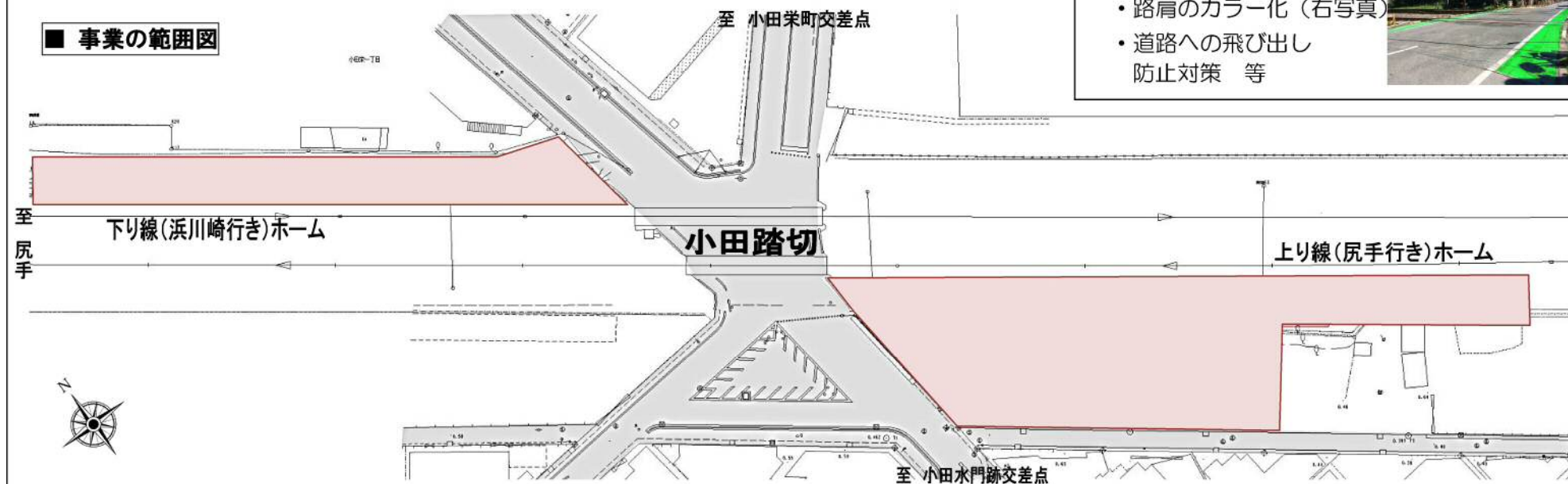
協定の概要	事業に関する基本的事項である、概ねの位置、内容、費用負担や利用促進の考え方などについて、合意する。
新駅設置位置	川崎区小田栄 (南武支線川崎新町・浜川崎駅間)
駅施設内容	ホーム及びホーム上家、スロープ、簡易 Suica 読取機 等
費用負担	両者で折半負担を基本とする。(参考：本市の今年度予算額は2.75億円)
開業時期	平成28年3月(目標)
その他	南武支線の利便性や快適性の向上を目指し、両者で利用促進のための施策に取り組む。

■交通安全対策について、交通管理者と協議中。

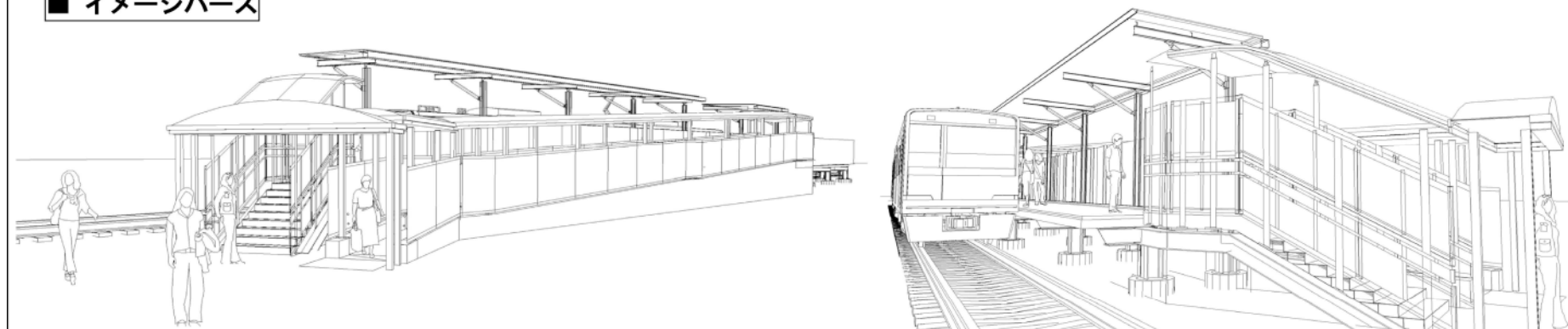
- 交通安全対策の例)
- ・路肩のカラー化(右写真)
 - ・道路への飛び出し防止対策等



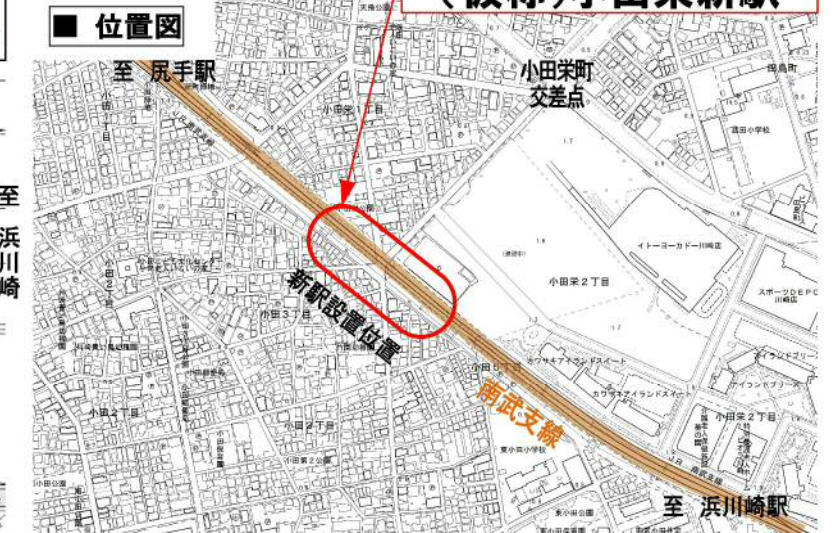
事業の範囲図



イメージパース



—JR南武支線—
(仮称)小田栄新駅



※下図は、川崎市の承認を得て同市発行の都市計画図を複製したものです。
承認番号(川崎市指令ま計第62号)

今後の予定

- 平成27年 8月: 駅名投票の取組
- 平成27年 秋頃: 鉄道事業法に基づく国の認可後に施行協定を締結し、工事説明会を開催
- 平成28年 3月: 開業目標
- 平成28年 3月以降: 南武支線の利便性や快適性の更なる向上のために利用促進を実施

-JR 南武支線- (仮称)小田栄新駅設置に向けて取り組みます

包括連携協定に基づく第1弾として、川崎新町駅～浜川崎駅間における新駅の検討を進めます

■位置図



■南武支線と小田栄地区



■新駅の概要

- 所在地
川崎市川崎区小田栄付近
- 検討位置
南武支線 川崎新町・浜川崎駅間
- 設置目的
人口が急増している小田栄地区の利便性を向上し、まちづくりに寄与するため。
- 開業目標時期
平成27年度末
- 利用者予測（定着時）
乗降者数 約3,500人/日
- 新駅による効果【例：小田栄地区 ⇒ 新宿】
 【旧経路】 川崎までバス、川崎から東海道線・山手線利用（品川経由）
 【新経路】 南武支線・南武線・湘南新宿ライン利用（武蔵小杉経由）
 所要時間 57分 ⇒ 48分【9分短縮】
- 備考
 - ・新駅設置に合わせて、南武支線の利便性向上策についても検討します。
 - ・JR東日本と地方自治体が連携により具体化を図る「戦略的新駅」として、両者が協働により取り組みます。
 - ・新駅は、低コスト化・短工期化による早期開業を目指して取り組みます。
 - ・今後は、包括連携協定に基づき、新駅へのアクセス性向上や、公共交通の利用促進に向けた周辺まちづくり等について、両者が協働して取り組みます。

■検討位置の周辺状況



協 定 書

件名：南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する基本協定書

南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅に関する基本協定書

川崎市（以下「甲」という。）と東日本旅客鉄道株式会社（以下「乙」という。）は、平成27年1月29日付けで締結した「川崎市と東日本旅客鉄道株式会社との包括連携協定書」第3条に基づき、南武支線川崎新町・浜川崎駅間新駅設置等（以下「事業」という。）に関する基本的事項について、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、事業に関する基本的事項を定め、甲及び乙が相互に協力して円滑に事業を実施することを目的とする。

（事業の内容、位置及び範囲）

第2条 事業の内容は、次の各号のとおりとし、位置及び範囲については、別紙「位置及び範囲図」を基本とする。

- (1) ホーム及びホーム上家設置
- (2) スロープ設置
- (3) システム改修
- (4) 簡易 Suica 改札機設置
- (5) その他

（設計及び施行）

第3条 事業に要する設計及び施行は乙が行うことを基本とし、詳細については別途甲乙協議して定めるものとする。

（費用負担）

第4条 事業に要する費用は、甲及び乙で折半負担を基本とする。

（利用促進）

第5条 甲及び乙は、南武支線の利便性や快適性の更なる向上を目指し、利用促進のための施策に取り組むものとする。なお、その詳細については、別途甲乙協議して定めるものとする。

（新駅設置後の取扱い）

第6条 新駅設置後の駅の利用動向については、一定期間の利用動向を鑑み、別途甲乙協議して定めるものとする。

(その他)

第7条 この協定に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、その都度甲乙協議して処理するものとする。

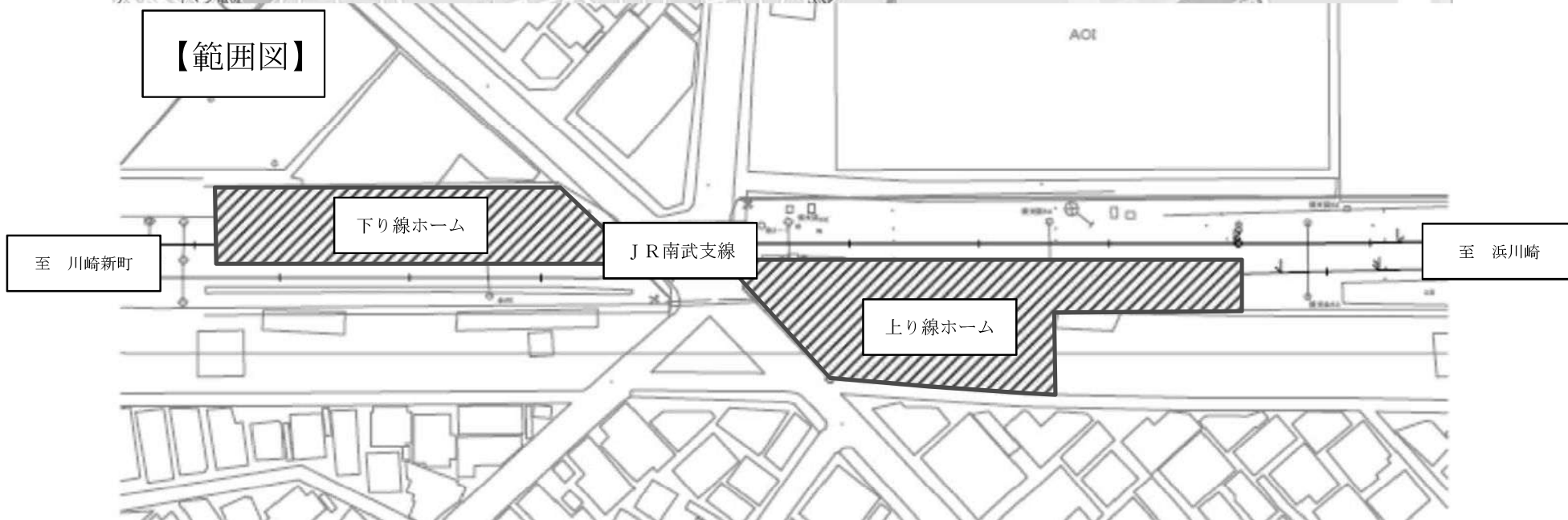
以上、本協定締結の証として、本書2通を作成し、甲乙各々記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成27年 7月30日

甲 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地
川崎市
川崎市市長 福田紀彦

乙 神奈川県横浜市西区平沼一丁目40番26号
東日本旅客鉄道株式会社
執行役員横浜支社長 平野邦彦

位置及び範囲図



JR南武支線・川崎新町駅～浜川崎駅間

新駅の駅名投票を実施します!!

川崎市とJR東日本は、JR南武支線・川崎新町駅～浜川崎駅間の新駅設置に関する検討を進めています。地域や南武支線のイメージを高め、利用者の皆さまに親しみのある駅とするため、駅名投票を実施します。

↓↓最も良いと思う案に○印を記入してください。

	A案	おださかええき 小田栄駅	地域を表す『小田』『小田栄』が含まれ、シンプルで分かりやすい名前です。
	B案	おだかわさきえき 小田川崎駅	『川崎新町駅』『浜川崎駅』の中間駅であるため、テンポがよく呼びやすい名前です。
	C案	おだやさかえき 小田弥栄駅	地域を表す『小田』『小田栄』が含まれ、『弥栄』にはますます栄えるという意味があり、地域のさらなる発展をイメージしています。

※わかりやすい、親しみやすい、覚えやすい、呼びやすい、地域にゆかりがある名称、同じ駅名でない（すでに『小田駅』があるため不可等）などの基準からA案～C案を選定しています。

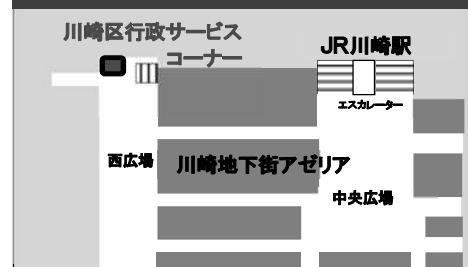
投票方法：上表左欄のひとつに○印を記入し、投票箱に投票してください。
投票用紙は、近隣町会に各戸配布します。また、投票箱の横にも置いてあります。（一世帯につき1票をお願いします。）

投票場所：■川崎区役所行政サービスコーナー
（月～金 7：30～19：00 土・日 9：00～17：00）
■川崎区役所田島支所 （月～金 8：30～17：00）
■セブンイレブン川崎小田栄1丁目店 （24時間営業）
※投票箱を設置しているのは、当該店舗のみです。
■川崎信用金庫小田支店 （月～金 9：00～16：00）
※投票箱を設置しているのは、当該支店のみです。
■渡田、小田、田島老人いこいの家（月～土 9：00～16：00）

投票期間：平成27年8月 5日（水）午前9時から
平成27年8月21日（金）午後3時まで
お問い合わせ：川崎市まちづくり局交通政策室鉄道交通対策担当
電話 044-200-2348



川崎区行政サービスコーナー
(川崎地下街アゼリア西広場)



川崎区役所田島支所
(川崎区鋼管通 2-3-7)



川崎信用金庫小田支店
(川崎区小田 4-13-7)



セブンイレブン川崎小田栄1丁目店
(川崎区小田栄 1-9-20)

